

Smile Woman!
インタビュー⑬
この人の仕事のカタチ
どこか置いてある「仕事」をしているあの人のリアルアップ。



Naoko Miyake

スポーツを通じて 心のつながりを

●専門性で大手と差別化

岡山市の中心部で40年以上にわたって営業を続けている「エイコススポーツ」熱心なスポーツ愛好者ではなくても、地元ではその名を知らない人はいない老舗スポーツ店のひとつだ。三宅直子さんは、先代代であるお父様の志を受け継いで会社経営に携わるようになり、昨年から社長に就任して陣頭指揮をとっている。

近年、岡山市やその近隣エリアでは、全国に店舗網を展開する大型店が相次いで出店し、競争が激化している。そうした中、同社は「専門性」を高めることで大型店との対抗を図っている。「ただ商品売るのではなく、競技やトレーニング方法も熟知したスタッフが、用具・ウェア選びのアドバイスを行い、もうと上達したい人のための専門店を目指しています」と三宅社長は話す。

実際同社は、主力としている野球、サッカー、フットサル、バスケ、ランニングの分野では、愛好者の間で定評がある。また特にフットサルでは、社員作のオリジナルデザインの商品展開、インターネットを通じて全国からオーダーが入っている。

●スポーツで心をつなぐ

また同社では、野球大会やランニングイベントなどを開催したり、Jリーグや岡山山のスポンサーや、岡山出身の有森裕子さんが主宰する国際NPOの支援など、地域スポーツの発展や社会貢献活動も

株式会社栄光スポーツ
代表取締役社長

三宅 直子さん

www.eikosports.co.jp

積極的。その中でも今年は、「岡山から社員が監督を務めるサッカーチームが、イギリスでの世界大会に出場。子ども達が世界の舞台で戦っている姿にとても感動しました」とうれい出来事も、こうした取り組みのつひとは、創業者が築き上げてきた信頼を継承し、「スポーツを通して心を繋ぐ」という経営理念を具現化したものといえる。

●岡山で一番愛される スポーツ店を目指して



エイコススポーツ

自らも市民ランナーの一人として、オフタイムはランニングを楽しむ三宅社長。「もともと走るのは大嫌いだったんですが(笑)」という言葉ながら、3年前の東京マラソン以来、何度もフルマラソンに挑戦し、毎回自己ベストを更新している。

「自分で納得できるタイムが出たら、今度はトライアスロンにも挑戦してみたい」と三宅社長は笑う。

また今後の事業展望の質問には、「多くの人がスポーツを楽しむシーン作りを社員とお客様と共に進めていきたいです」と答える。その言葉の通り同社は、地域や人とのつながりをますます深めつつ、岡山で一番愛されるスポーツ店として進化を続けている。